

71

NAGAI LEBEN

第71期報告書

2019年9月1日から2020年8月31日まで

いのちの力になりたい。

 ナガイレーベン株式会社



ごあいさつ

思いをつないで、発展し続ける。



代表取締役社長
澤登 一郎

日頃よりナガイレーベングループをご支援いただき、心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の世界的拡大にともない、忘れもしない今年四月、日本でも緊急事態宣言が発令されました。尊い人命が脅かされ、これまで当たり前だった社会生活が困難となり、経済活動にも甚大な影響を与えました。

こうした未曾有の事態にあつて、最前線で新型コロナウイルス感染症に対処する現場の医療資材不足という緊急課題が浮上し、感染症対策商品の開発を急務として、医療用マスクや防護服を迅速に生産、提供させていただきました。医療従事者の方々に、改めて敬意と感謝を述べさせていただきますと思います。

弊社に出来ることは、僅かではありますが、これからも医療従事者の方々のお役に立てるよう、また、「いのちの力になる」という使命を果たせるよう、努力し続ける所存です。より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

あなたの勇気、忘れない。

2020年、医療従事者がこれほど疲弊する姿を見たことがあったでしょうか。私たちだけでなく誰もがそれぞれの立場で何か力になりたいと願いました。ナガイレーベンは、医療現場で不足する防護服や医療用マスクの提供、私たちができることを迅速に実行致しました。また医療従事者への感謝と敬意の思いを、一般全国紙の広告を通じて、幅広い層にお伝えいたしました。ナガイレーベンをご存知ない全国の皆様から「広告を見て感動した」などのあたたかい感想を数多く頂戴し、思いの共有は、新市場開拓に向けた商品開発の大きな勇気になりました。医療衣需要の拡大、深化する分野に焦点を当て、新しい価値の創造をはかりました。ナガイレーベンと親交の深い関係者はもとより、モデルの皆様やいとなギャラリーに関わったアーティストの皆様の応援をいただきながら共に新たな市場開拓を推し進め、これからも医療従事者の力になる様々な施策を行ってまいります。



ブライトデイズ® / ナースの美しさ、資生堂とともに追求。

・ ・ ・ ・ ・
・ ・ ・ ・ ・
Bright Days
・ ・ ・ ・ ・
・ ・ ・ ・ ・



ブライトデイズ®コンセプト(イメージ) / エールを送る友人、心を癒されるナースを表現したシーン。

37°C®



37°C®、リバティプリント／クラシカルなニーズに応え、細部に上品さとやさしさをプラス。

NewSong®



NewSong® / 市場のニーズに応え、カラースクラブにホワイトをプラス。

Liberty Print



4



医療従事者へのエール広告(朝日、読売、日経他)



ニューラポスタイル、プラストラスト／新市場向けのニューラボコートと HI 向け二次加工商品。



5

B 連結業績ハイライト Business Highlight

第71期決算の概要

売上高	170億円	前年同期比 1.7%増
売上総利益率	45.8%	前年同期比 0.9ポイント減
営業利益	49億円	前年同期比 0.4%増
当期純利益	34億円	前年同期比 0.8%増
総資産	449億円	前年同期比 1.5%増
自己資本比率	89.3%	

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、医療・介護業界におきましては、新型コロナウイルスに立ち向かう最前線として、この未曾有の事態に昼夜を問わず全力で対応して来られました。

このような状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、感染対策の医療資材不足という医療現場での緊急課題が浮上し、感染対策商品を急遽開発し、提供いたしました。その結果、主力のヘルスケアウェア及びドクターウェアが新型コロナウイルス禍において更新物件の商談に支障があったものの、期中に上市した感染対策商品群が急伸し、170億66百万円(前年同期比1.7%増)の売上高となりました。

急増した感染対策商品の需要に対し、国内での生産能力を感染対策商品の生産に全面的に切り替えたことで、医療現場に対し迅速な供給ができたものの、売上総利益率は、国内での緊急生産による利益額の減少が起これ、その他原価上昇要因により、前年同期比0.9ポイントダウンの45.8%となりました。

来期の業績見通し

売上高	173億円	前年同期比 1.4%増
営業利益	50億円	前年同期比 2.7%増
当期純利益	35億円	前年同期比 1.3%増

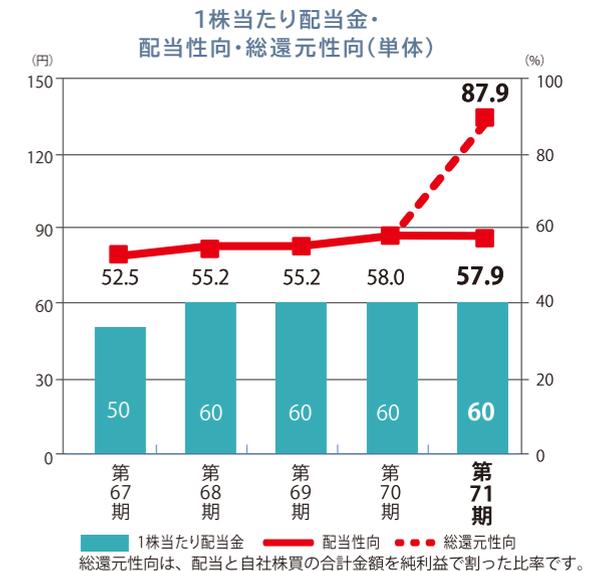
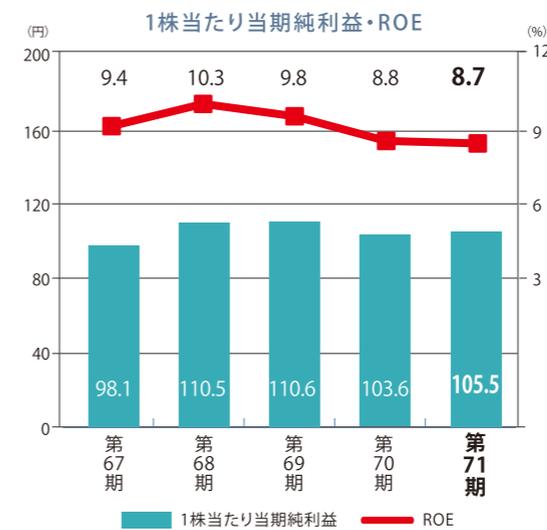
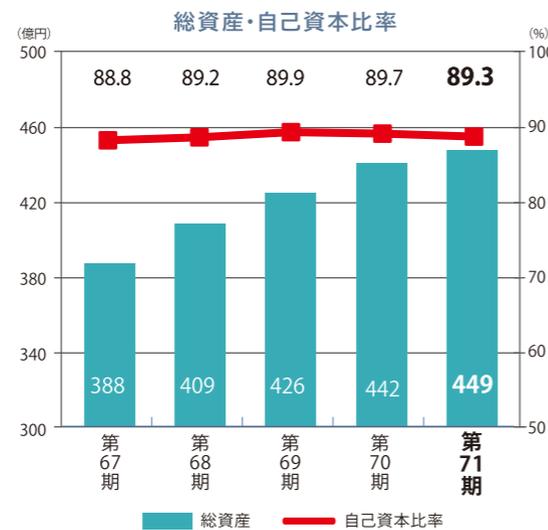
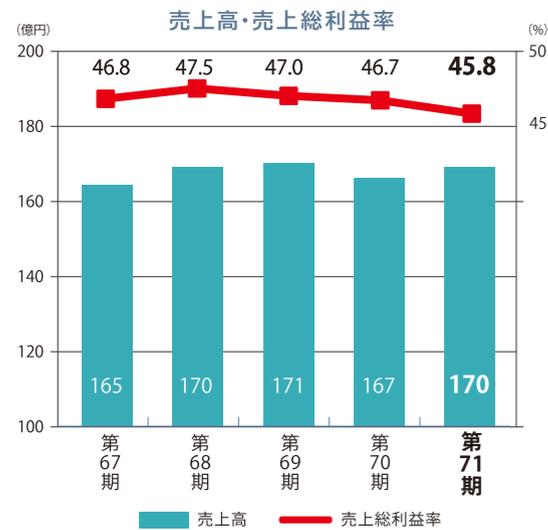
今後の見通しといたしまして、国内外において新型コロナウイルス感染症の終息の時期や感染拡大による影響が見通せないため、景気の先行きは依然不透明な状況が続くことが見込まれます。

当社グループといたしましては、このような状況下において営業活動の進捗に不透明感が残るものの、メディカルウェアは消耗品のため、前期からの期ズレ物件も含め順次納入が進むものと判断しており、前期比1.4%増の過去最高の売上を目指してまいります。

経営課題と取り組み状況

売上拡大に向けた営業戦略 <ul style="list-style-type: none"> ● 看護・介護等コア市場の深耕 ● 患者・手術等周辺市場の拡大 ● 海外市場の開拓 <ul style="list-style-type: none"> - 日本での当社ビジネスモデルを東アジアに展開 ● リユース感染対策商品の開発
安定供給に向けた生産戦略 <ul style="list-style-type: none"> ● 国内縫製新工場の稼働 <ul style="list-style-type: none"> - 国内生産体制の強化 - QR・小ロット多品種生産への対応力強化 ● 素材メーカー・商社との取り組み強化
収益力安定に向けた戦略 <ul style="list-style-type: none"> ● 高付加価値戦略による事業収益性の確保 ● 国内素材から海外素材への移管着手 ● 国内縫製から海外縫製へのシフト ● 使用原材料の有効活用の推進

主な経営指標



Financial Statement

連結財務諸表の概要

貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 2019年8月31日	当期末 2020年8月31日
(資産の部)		
流動資産	35,054	35,936
固定資産	9,226	8,995
資産合計	44,281	44,931
(負債の部)		
流動負債	3,494	3,713
固定負債	1,065	1,096
負債合計	4,559	4,810
(純資産の部)		
株主資本	39,518	39,983
その他の包括利益累計額	202	137
純資産合計	39,721	40,121
負債純資産合計	44,281	44,931
1株当たり純資産	1,194円54銭	1,221円00銭

(2020年8月31日現在)
(注)記載金額は百万円未満を切り捨てています。
この財務諸表は主要な項目を表示しています。

Point

流動資産は、現金及び預金4億89百万円の増加、受取手形及び売掛金1億86百万円の増加、たな卸資産1億51百万円の増加、電子記録債権46百万円の増加により、前期比8億82百万円の増加となりました。

Point

固定資産は、建物及び構築物の減価償却費等で、前期比2億31百万円の減少となりました。

Point

株主資本は前期比4億64百万円増加いたしました。株主還元として、19億95百万円の配当金の支払、10億31百万円の自己株式の取得を実施いたしました。

株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

科目	前期末 2019年8月31日	当期末 2020年8月31日
株主資本合計(期首残高)	38,051	39,518
当期変動額	1,467	464
株主資本合計(期末残高)	39,518	39,983

損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期末 2019年8月31日	当期末 2020年8月31日
売上高	16,785	17,066
売上原価	8,944	9,256
売上総利益	7,840	7,810
販売費及び一般管理費	2,922	2,872
営業利益	4,918	4,937
営業外収益	111	127
営業外費用	38	32
経常利益	4,990	5,031
特別利益	11	11
特別損失	13	13
税金等調整前当期純利益	4,988	5,030
法人税等	1,543	1,556
当期純利益	3,445	3,474
1株当たり当期純利益	103円61銭	105円47銭

Point

販売費及び一般管理費は、新型コロナウイルス感染症に関連し、活動自粛による国内外の人的移動自粛、展示会の延期及び中止等があり、前期比49百万円の減少となりました。

Point

営業活動によるキャッシュ・フローは36億34百万円となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入に対する払戻の超過収入、投資有価証券の売却等で5億75百万円となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払(19億94百万円)、自己株式の取得(10億31百万円)を行いました。これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は64億46百万円となりました。

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期末 2019年8月31日	当期末 2020年8月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,433	3,634
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,605	575
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,994	△3,026
現金及び現金同等物の増減額	△172	1,189
現金及び現金同等物の期首残高	5,430	5,257
現金及び現金同等物の期末残高	5,257	6,446

Management Philosophy

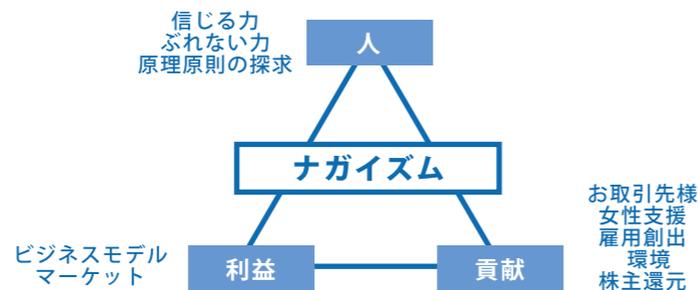
ナガイレーベンは「いのちの力になりたい。」を理念に掲げ、メディカルウェアの企画・生産・販売を通じて、人の生命と健康に貢献する企業を目指しています。

人と、企業利益(企業成長)と、社会貢献、それぞれがバランス良く熟成してこそ、社会に求められる企業集団になると考えています。

さらに、“ナガイズム(ナガイ主義)”ともいえる、行動指針があります。

もっと人に、深く、広く、健康一般へ、人と健康のあらゆる分野へ、活動の場を広げていきます。

いのちの力になりたい。



Rewarding Policies

当社は、株主の皆様への利益還元の充実を経営課題のひとつとして位置付け、強固な財務体質の強みを生かし、配当性向を当社単体の純利益の50%以上、安定的な配当金額を継続とする方針で、必要に応じて自己株式の取得等を積極的に実施しております。

第71期の期末配当	自己株式の取得
1株60円 (単体・配当性向:57.9%)	買付株数: 400千株 (発行済株式数の1.05%)
	総 額: 10億31百万円

Topics about COVID-19

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様及び感染拡大により困難な生活環境におられる皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

感染対策商品の新開発・医療機関等への寄付

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、マスクやガウンなどの感染対策医療資材の不足という緊急課題が医療現場等で浮上し、当社は感染対策商品を新規に開発・生産し、医療機関等に寄付いたしました。

今後も、医療に関わる企業として、「いのちの力になりたい。」を核に、医療現場を支える取り組みを進めてまいります。

(寄付内容)

リニューザブルマスク:4万枚

アイソレーションガウン:1万枚



医療従事者への応援メッセージ

新型コロナウイルス感染症に立ち向かう最前線である医療・介護業界では、この未曾有の事態に、昼夜を問わず全力での対応が続けられています。

当社は、終息の目処が未だ見えない中、奮闘される医療従事者の皆様への応援の思いを込めた広告を2020年5月に全国紙に掲載いたしました。



新型コロナウイルスの当社への影響

当社グループが管轄している生産・販売・物流は、全て通常通り稼働し、国内外の生産環境への影響は軽微な状況です。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、当社の顧客である医療機関での混乱状況が発生し、商品の納入遅れが発生しました。今後順次納入が再開するものと想定しております。

Social Responsibility

ナガイレーベンは、「持続可能な開発目標(SDGs)」で掲げられる、世界が直面するさまざまな課題と真摯に向き合い、事業を通じた社会課題の解決を図ることで、持続可能な社会の実現を目指してまいります。



会社概要 Corporate Outline

商号 ナガイレーベン株式会社 (2020年11月19日現在)

本社 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2丁目1番10号

設立 昭和25年7月20日

資本金 1,925,273,475円

社員数 119人(グループ従業員数516人) (2020年8月31日現在)

役員

代表取締役社長	澤登 一郎
常務取締役 経営企画本部長	斉藤 信彦
取締役 業務本部長	朝井 克司
取締役 企画本部長	山本 康義
取締役 営業本部長	新谷 欣哉
取締役 管理本部長	山村 浩之 (新任)
取締役 常勤監査等委員	荻野 和孝
社外取締役 監査等委員	城見 浩一
社外取締役 監査等委員	三嶋 浩太

2020年11月19日開催の第71期定時株主総会終結の時をもって、取締役 徳江 健は退任し、当社内部監査室室長に就任しております。

主な事業所

本社
ナガイレーベン物流センター
ナガイレーベン第2物流センター
ナガイレーベン西日本物流センター

北海道支店 東北支店
名古屋支店 大阪支店
広島支店 高松支店
福岡支店 台北支店

関係会社 ナガイ白衣工業株式会社



株式情報 Stock Information

株式情報

発行可能株式総数 100,000,000株

発行済株式総数 32,859,314株
(自己株式5,376,686株を除く)

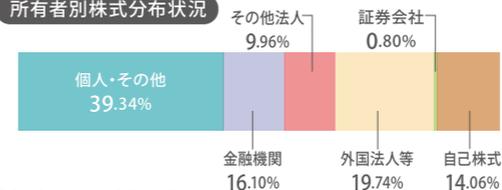
株主数 2,903名

大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
澤登 一郎	5,788,850	17.6
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	2,269,027	6.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,210,300	6.7
JP MORGAN CHASE BANK 380055	1,725,734	5.3
有限会社登龍	1,455,300	4.4
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,138,300	3.5
澤登 辰郎	1,050,200	3.2
RBC IST 15 PCT NON LENDING ACCOUNT-CLIENT ACCOUNT	882,900	2.7
澤登 春江	623,600	1.9
水口 洋子	592,400	1.8

注 1. 当社は、自己株式を5,376,686株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株価の推移



株主メモ (2020年8月31日現在)

決算期 毎年8月31日

定時株主総会 毎事業年度末の翌日から3か月以内

基準日 毎年8月31日

公告掲載方法 電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
公告掲載URL <https://www.nagaiben.co.jp/>

単元株式数 100株

銘柄コード 7447

上場証券取引所 東京証券取引所

株主名簿管理人 日本証券代行株式会社
〒103-8202
東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番4号

事務取扱所 日本証券代行株式会社 本店
〒103-8202
東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番4号

郵便物送付先・お問合せ先 日本証券代行株式会社 代理人部
〒168-8620
東京都杉並区和泉2丁目8番4号
電話0120-707-843(フリーダイヤル)

各種手続のお申出先

- ・未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等
証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
- ・証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行へお申出ください。

いのちの力になりたい。

ナガイレーベン株式会社

本 社 〒101-0044 東京都千代田区銀冶町2-1-10 Tel.03-5289-8200 (代) Fax.03-5289-7935

営 業 本 部 Tel.03-5289-7891 (代) Fax.03-5289-7917

北海道支店 〒065-0017 札幌市東区北17条東3-2-19 Tel.011-741-1416 (代) Fax.011-741-1417

東北支店 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-8-11 Tel.022-256-1001 (代) Fax.022-256-1004

名古屋支店 〒461-0002 名古屋市東区代官町35-16第一富士ビル6F Tel.052-979-4300 (代) Fax.052-979-4301

大阪支店 〒537-0024 大阪市東成区東小橋1-17-26 Tel.06-6977-2221 (代) Fax.06-6977-3700

広島支店 〒733-0003 広島市西区三篠町2-17-16広本ビル1F Tel.082-509-3001 (代) Fax.082-509-3003

高松支店 〒761-0113 高松市屋島西町1897-17 Tel.087-843-2328 (代) Fax.087-843-2329

福岡支店 〒810-0013 福岡市中央区高砂2-11-11 Tel.092-526-7778 (代) Fax.092-526-7779

台北支店 台北市中山区復興北路178號8F之4 Tel.02-2545-5885 (代) Fax.02-2545-6149

ナガイレーベンホームページ <https://www.nagaileben.co.jp>

いとなギャラリーホームページ <https://www.itona.jp>



JQA-QMA11091
本社・国内事業所
JQA-EM4600
本社

※メディカル及びヘルスケアー関連アパレル製品



ナガイレーベン株式会社は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。